

子どもに向かい合い続ける保護者を応援します。【子育て通信】は季刊です。裏面にコラムがあります。

～家庭教育支援講座～

オンライン

親子で楽しむ
STEAM教室

どんな車を開発するかワクワク！

画像提供：東京学芸大こども未来研究所

オンライン会議アプリ「Zoom」を使用して、身の回りの物を用いてゴムで動く車をつくり、試行錯誤をしながらゴールを目指します。

親子で創意工夫・意見交換しながら、ものづくり体験に挑戦し、目標にチャレンジすることを通じて、親子の関わりを楽しみましょう！

【開催日程】

第1回 3月12日(土) 9:30～12:00

第2回 3月12日(土) 13:30～16:00

【対象】 区内在住・在学の小学校1年生～3年生と
その保護者

【参加費】 無料

【講師】

大谷 忠（東京学芸大学大学院 教授 / 東京学芸大こども未来研究所 理事長）

【参加条件】

自宅等からオンライン会議アプリ「ZOOM」で参加できること

【定員】

各回 子どもと保護者20組・40名(定員を上回る場合は抽選となります。)

【ご家庭で事前に用意していただくもの】

車制作に必要な材料及び工作用具には、各ご家庭でご用意いただくものがありますので、あらかじめご了承の上お申込みください。詳細につきましては当選通知にてご案内いたします。



【申込み方法】下記申込書の必要事項をご記入の上、学校を経由せず【地域教育支援課】まで次のいずれかの方法でお申込みください。

メール(右記QRコード参照) 郵送 窓口に持参

【申込み先/問合せ先】墨田区教育委員会事務局地域教育支援課地域教育支援担当

〒130-8640 墨田区吾妻橋1-23-20

TEL 03-5608-6311(平日8:30～17:00)



申込み期間 ... 2月2日(水)まで(必着)。(2月14日～25日頃に当落選のお知らせを送付します。)

----- 切り取り線 -----

親子で楽しむSTEAM教室”申込み書

ふりがな		ふりがな	
氏名		保護者氏名	
学年		希望する回	3月12日(9:30～12:00 / 13:30～16:00) ひとつだけ で囲ってください
住所	〒	連絡先	

各回とも保護者と一緒に申込みをしてください。子どもだけの申込み・参加はできません。メールでのお申込みの場合は申込書記載の項目を入力の上、お申込みください。



『子育て支援ヨラム』

令和3年度第4回テーマ
子どもたちのやる気や自己肯定感を育てる

子どもは本来エネルギーにあふれて、いろいろなものやことに興味関心を示す存在です。あらゆる見るものに触って感触を確かめたり、口に入れて味わったり、押したり引っ張って見たらどうなるかと、興味津々です。なんだろう、どうしてこうなの？と疑問だらけです。その過程が、時に危険をはらむ場合もあります。

学校や子どもを取り囲む私たち大人が、子どものなんだろう、どうしてこうなの？について適切に対応して子どもの関心を広げたり、共にびっくりして共感する体験は子どもにとって更なるやる気につながり、お母さんも自分と一緒に驚いて、すごい！と言ってくれた体験の積み重ねは自己肯定感の育成につながります。

ここで、逆に私たちカウンセラーが時たま目にする、無気力で全てのことに興味関心を持たず、失敗するのではないかと不安な気持ちに満ちた子どもについて考えてみましょう。

育つ過程で、自分の行動に「ダメ」「やめなさい」と言ってストップをかけられることが多かったり、うまくいなくてガックリしているところに叱責を浴びて更にやる気を失ったりした経験はありませんか？学習に取り組もうとしない子どもにどうしたの？と尋ねると、どうせ間違えるからと、取り組む気持ちになれないと答える子どもが多いように感じます。

では、どのように子どもたちに対応すれば良いのでしょうか？

第一に、危険な結果を招くことや他の人に迷惑をかけるおそれがない限り自分の行動の結果を体験させましょう。「やめなさい」「ダメ」と言うときは、なぜやめなければならないかを必ず簡潔に加えます。同じことを何度も言うことになるとついカッとなりますが、なぜやめて欲しいかを考えることでクールダウンできます。

第二に、結果でなくプロセスに着目しましょう。勝ち負け、できた・できないに過度にこだわる子どもが多いように思います。取り組む姿勢を見ているメッセージを伝えましょう。

いずれのことも、生活の細かなところで実践できることです。子どもの持っている思い切って挑戦する、いえ挑戦しようとする気持ちを育てて行きましょう。

【早川 和子(はやかわ かずこ)

臨床心理士、墨田区スクールカウンセラー(SC)】

